

この内容は、2024年6月5日に公表(7月2日に変更)した「2025年度高知大学入学
者選抜に関する要項」に基づいています。

2025年度入試 農林海洋科学部の選抜方法

- ◆選抜区分と募集人員
- ◆選抜方法等の概略
(前年度からの変更点)



この動画では、高知大学農林海洋科学部の2025年度入試について、実施する選抜
区分と募集人員、前年度からの変更点を中心に選抜方法の概略をご説明します。

| 農林海洋科学部 | | 募集人員 | | | | 2025年度入試 | | 国際 バカロレア 選抜 |
|-------------|----------------|------|----|------------------|------------|--|----|-------------------|
| | | 一般選抜 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 | | |
| | | 前期 | 後期 | I | II | I | II | |
| 農林資源 科学科 | フィールド科学 コース | 40 | 15 | 一般枠 10 高知県枠 5 | 地域志向枠 5 | 一般推薦(A選抜) 7 一般推薦(B選抜/地域志向枠) 5 専門推薦 3 専門推薦(高知県枠) 5 | | 若干名 |
| | 農芸化学コース | 30 | 5 | 地域志向枠 5 | | 高知県枠 5 | | |
| 海洋資源 科学科 | 海洋生物生産学 コース | 18 | 7 | | | 一般推薦 6 専門推薦 2 | | 若干名 |
| | 海底資源環境学 コース | 9 | | | | 5 | | |
| | 海洋生命科学 コース | 14 | | | | 4 | | |

数字は募集人数

「地域志向枠」は、入学後に地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。

農林海洋科学部では、一般選抜前期日程・後期日程、総合型選抜 I・II、学校推薦型選抜 I・II を実施します。

農林資源科学科では、2025年度入試から「地域志向枠」の選抜を開始します。「地域志向枠」は、入学後に、地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。出願に際して出身地域に制限はありません。また、学校推薦型選抜 I の「一般推薦 (B選抜/地域志向枠)」への出願は、B選抜のみの単願またはA選抜との併願が選択できます。

総合型選抜 I と学校推薦型選抜 I の一部では、高等学校の所在地や学科により出願できる枠が異なりますのでご注意ください。

「高知県枠」は、高知県の高等学校出身者が対象となります。また「フィールド科学コース」の「高知県枠」は、卒業見込み者で「高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している場合」も「高知県枠」に出願できます。これらに該当する方は、出願時に「一般枠」または「高知県枠」のいずれかを選択していただきます。

「専門推薦」は、「高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科」が対象となります。

海洋資源科学科の一般選抜後期日程は、一括募集を行いません。

最新の情報は高知大学HPでご確認ください。

農林海洋科学部 選抜方法

※1「地域志向枠」は入学後に地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。

※2「高知県枠」は入学後に「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。

農林資源科学科:フィールド科学コース

2025年度入試

| 一般選抜 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 |
|--|---|---|--|---|
| 前期 | 後期 | I | II | I |
| 【共通テスト】 > 6-7教科7科目 800点 【個別試験】 > 物基・物、化基・化、生基・生から1 200点 > 活動報告書※ | 【共通テスト】 > 6-7教科7科目 800点 【個別試験】 > 面接 100点 | 一般枠・高知県枠※2共通 【第1次選抜】 募集人員の約2倍程度を合格 > 書類選考(志願理由書, 調査書) 100点 【第2次選抜】 > 模擬授業及び小論文100点 > 口頭試問(物理, 化学, 生物から1)を含む面接(調査書, 志願理由書) 100点 > 第1次選抜の成績 100点 | 地域志向枠※1 【共通テスト】 > 6-7教科7科目 800点 【個別試験】 > 書類審査(志願理由書, 調査書) 100点 > 口頭試問(物理, 化学, 生物から1。日本国内の中山間地域が抱える課題に関する知識)を含む面接(推薦書, 調査書, 志願理由書) 200点 | 一般推薦(A選抜)・ 一般推薦(B選抜/地域志向枠※1)・ 専門推薦・専門推薦(高知県枠※) > 現役、既卒 > 調査書：一般推薦3.8以上, 専門推薦4.3以上 > 口頭試問(一般推薦：物理, 化学, 生物から1。専門推薦：本コースに関する基礎知識)を含む面接(推薦書, 調査書, 志願理由書) 100点 > 小論文(一般推薦B選抜/地域志向枠のみ) 100点 |
| 昨年度からの変更点 > 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。 ※活動報告書（意欲的に取り組んだ活動1件）の評価は、合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。 | | | | |
| 国際バカロレア選抜 | | > 書類審査(志願理由書, IB成績, EE, TOK, CAS, 外部英語試験成績) 100点 > 面接 100点 | | |

最初に、農林資源科学科です。

フィールド科学コースでは、一般選抜前期日程・後期日程、総合型選抜 I・II、学校推薦型選抜 I を実施します。

前期日程は、個別試験で「物理、化学、生物から1科目選択」となります。

今年度より新たに「地域志向枠」の選抜を、総合型選抜 II および学校推薦型選抜 I で開始します。

総合型選抜 II の個別試験は、「書類審査」と「口頭試問を含む面接」を実施します。「口頭試問を含む面接」は、個人面接の方法で行います。本コースで学ぶ関心・意欲・態度、理科(物理、化学、生物から1つを選択)の基礎知識及び日本国内の中山間地域が抱える課題に関する知識に重点を置いて、思考・知識・判断・技能・表現を総合的に判断し、評価します。

学校推薦型選抜 I の「一般推薦(B選抜/地域志向枠)」は、「口頭試問を含む面接」と「小論文」を実施します。「口頭試問を含む面接」では、理科(物理、化学、生物から1つを選択)の基礎知識について質問します。面接時間は約20分間です。「小論文」は、日本国内における中山間地域が抱える課題やその解決方法への関心について問います。

農林海洋科学部 選抜方法

※1「地域志向枠」は入学後に地域への理解、地域の課題とその解決に関する講義・演習科目である地方創生推進士育成科目および指定の準正課活動を履修します。

※2「高知県枠」は入学後に「次世代農業教育プログラム」の「次世代農業科学コース」を履修します。

農林資源科学科：農芸化学コース

2025年度入試

| 一般選抜 | | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 |
|---|---|---|--|
| 前期 | 後期 | I | I |
| 【共通テスト】 > 6-7教科7科目 800点 【個別試験】 > 面接 100点 | 【共通テスト】 > 6-7教科7科目 800点 【個別試験】 > 面接 100点 | 地域志向枠※1 【第1次選抜】 募集人員の 2倍程度を合格 > 書類選考 (志願理由書, 調査書) 【第2次選抜】 > 小論文 > 面接(調査書, 志願理由書) > 第1次選抜の成績 | 高知県枠※2 > 現役、既卒 > 調査書：3.8以上 > 口頭試問(理科分野の基礎知識)を含む面接(推薦書, 調査書, 志願理由書) 100点 |
| 昨年度からの変更点 > 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。 | | | |

農芸化学コースは、一般選抜の前期日程・後期日程、総合型選抜 I および学校推薦型選抜 I を実施します。

一般選抜の共通テスト科目は、6教科型となります。

今年度より新たに「地域志向枠」の選抜を、総合型選抜 I で開始します。総合型選抜 I は共通テストを課さず、2段階の選抜を行います。第1次選抜は、「出願書類」による選抜を行い、募集人員の2倍程度を合格者とします。第2次選抜は、「小論文」と「面接」を実施します。「小論文」では、「食」、「農」、「地方」をキーワードとして論理的な思考ができ、かつ適切に表現できるかを評価します。「面接」では本コースで学ぶ関心・意欲・態度を評価します。

学校推薦型選抜 I は、「高知県枠」のみとなります。高知県内の高等学校を卒業もしくは卒業見込みの方が対象です。

農林海洋科学部 選抜方法

2025年度入試

海洋資源科学科：海洋生物生産学コース

一般選抜

学校推薦型選抜

前期

後期（全コース共通）

II

【共通テスト】

- 6-7教科7科目 900点

【個別試験】

- 面接 100点

【共通テスト】

- 5教科6科目 700点

【個別試験】

- 面接 100点

一般推薦・専門推薦

- 現役、既卒
- 調査書
- 一般推薦：学習成績の状況に制限なし
- 専門推薦：4.3以上

【共通テスト】

- 5教科5科目 700点

【個別試験】

- 面接(調査書, 推薦書) 100点

昨年度からの変更点

- 共通テスト(前期)：地歴・公民を課さない⇒地歴・公民と情報を追加
- 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

昨年度からの変更点

- 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

国際バカロレア選抜

- 書類審査(志願理由書, IB成績, EE, TOK, CAS, 外部英語試験成績) 200点
- 面接 100点

続いて、海洋資源科学科です。

海洋生物生産学コースは、一般選抜の前期日程・後期日程、学校推薦型選抜IIを実施します。

一般選抜前期日程の共通テスト科目は、2024年度入試までは地歴・公民がない4教科型でしたが、2025年度入試からは地歴・公民と情報を加えた6-7教科型に変更します。地歴・公民の配点は100点です。情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

前期日程の理科は1科目ですが、配点は200点となります。

なお、後期日程は、他のコースとの一括募集を行いません。

学校推薦型選抜IIの「専門推薦」は、「高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科」が対象となります。共通テストは、地歴・公民がない5教科型で、数学は1科目選択です。

農林海洋科学部 選抜方法

2025年度入試

海洋資源科学科：海底資源環境学コース

一般選抜

前期

【共通テスト】

- 5教科7科目 1000点

【個別試験】

- 面接 200点

後期（全コース共通）

【共通テスト】

- 5教科6科目 700点

【個別試験】

- 面接 100点

昨年度からの変更点

- 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

学校推薦型選抜

II

- 現役、既卒

- 調査書：学習成績の状況に制限なし

【共通テスト】

- 5教科7科目 800点

【個別試験】

- 面接(調査書, 推薦書) 100点

昨年度からの変更点

- 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

海底資源環境学コースは、一般選抜の前期日程・後期日程、学校推薦型選抜IIを実施します。

一般選抜の共通テスト科目は、地歴・公民がない5教科型です。前期日程の理科は、「物理、化学、生物、地学から2科目選択」で配点は400点となります。なお、後期日程は、他のコースとの一括募集を行ないません。

学校推薦型選抜IIの共通テスト科目は、地歴・公民がない5教科型です。理科は「物理、化学、生物、地学から2科目選択」で400点と配点が高くなっています。

農林海洋科学部 選抜方法

2025年度入試

海洋資源科学科：海洋生命科学コース

一般選抜

前期

- 【共通テスト】
 ▶ 6-7教科7科目 900点
- 【個別試験】
 ▶ 化基・化, 生基・生から1
 400点
 ▶ 活動報告書※

後期（全コース共通）

- 【共通テスト】
 ▶ 5教科6科目 700点
- 【個別試験】
 ▶ 面接 100点

昨年度からの変更点

- ▶ 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

※ 活動報告書（意欲的に取り組んだ活動1件）の評価は、合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。

学校推薦型選抜

II

- ▶ 現役、既卒
 ▶ 調査書：学習成績の状況に制限なし
- 【共通テスト】
 ▶ 6-7教科7科目 650点
- 【個別試験】
 ▶ 面接(調査書, 推薦書) 150点

昨年度からの変更点

- ▶ 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ用います。

海洋生命科学コースは、一般選抜の前期日程・後期日程、学校推薦型選抜 II を実施します。

一般選抜前期日程の共通テスト理科は1科目ですが、配点は200点となります。

なお、後期日程は、他のコースとの一括募集を行ないます。

学校推薦型選抜 II の共通テスト科目は、国語、地歴・公民、数学の配点が低くなっています。

2025年度入試の概略 について

ご説明しました。

各選抜の詳細については、必ず

入学者選抜に関する要項 及び **募集要項**

で ご確認ください。



以上、2025年度入試の概略をご説明しました。

各選抜の詳細については、必ず「入学者選抜に関する要項」及び「募集要項」で確認するようにしてください。